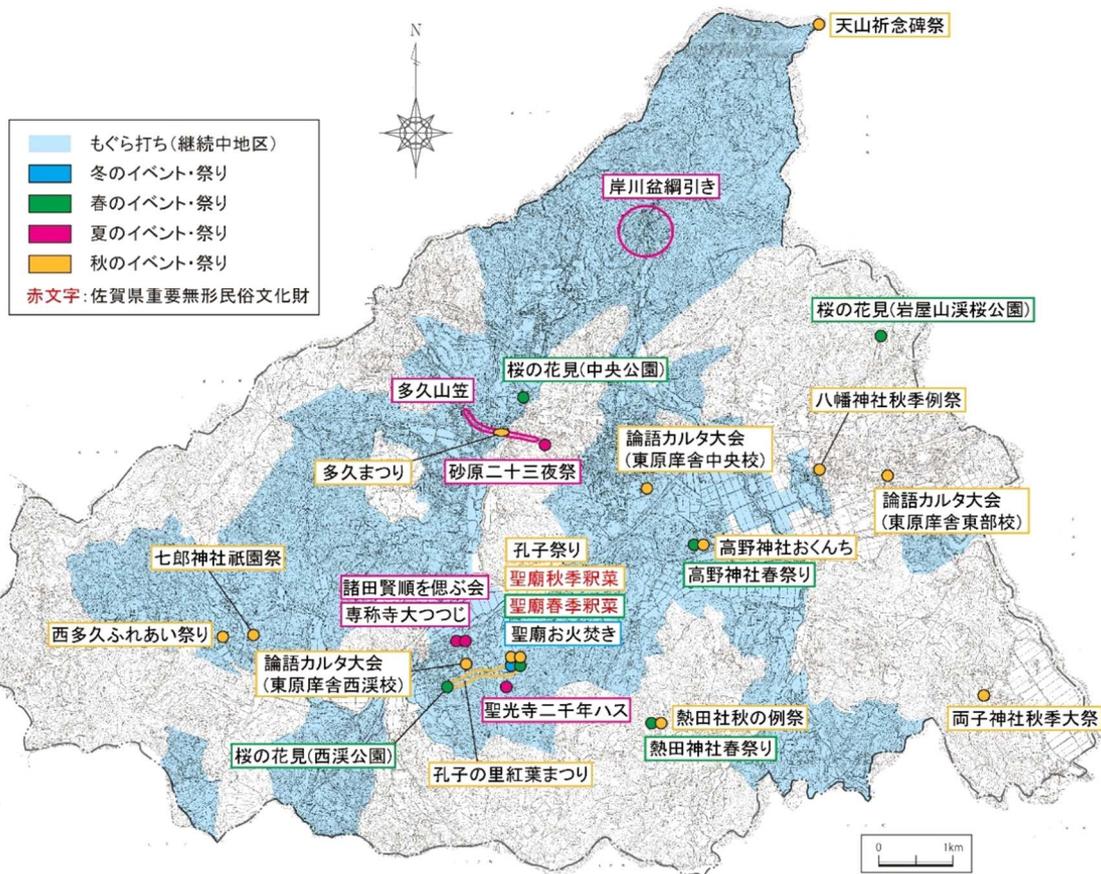


資料 10 多久市の主なイベント・祭り一覧

分類	名称	時期	場所
イベント	七草がゆ会	1月上旬	川打家住宅、森家住宅
無形文化財	もぐら打ち	1月14日	各地
イベント	桜の花見	3月下旬	西溪公園、中央公園、岩屋山溪桜公園
無形文化財	聖廟春季釈菜	4月18日	多久町東の原
無形文化財	高野神社春祭り	4月9日	南多久町西ノ谷
無形文化財	熱田神社春祭り	4月21日	南多久町後野・平原
イベント	専称寺大つつじの見ごろ	6月10日前後	多久町東の原
イベント	聖光寺二千年ハスの見ごろ	6月下旬～7月中旬	多久町東の原
イベント	諸田賢順を偲ぶ会	7月13日	多久町東の原(専称寺)
無形文化財	砂原二十三夜祭	7月23日	北多久町砂原
無形文化財	多久山笠	8/15.16	北多久町多久駅周辺を巡行
無形文化財	岸川盆綱引き	8/15、2年に一度	北多久町岸川
無形文化財	七郎神社祇園祭	9月15日	西多久町板屋
イベント	天山祈念碑祭	10月第一土曜日	北多久町岸川(天山山頂)
無形文化財	八幡神社秋季例祭	9月23日	東多久町別府
無形文化財	聖廟秋季釈菜	10月第4日曜日	多久町東の原
イベント	孔子祭り	10月第4日曜日	多久町東の原
無形文化財	高野神社おくんち	10月19日	南多久町西ノ谷
無形文化財	両子神社秋季大祭	10月19日	東多久町平林
無形文化財	熱田社秋の例祭	10月21日	南多久町後野・平原
イベント	多久まつり	10月下旬～11月上旬	北多久町多久駅周辺、他
イベント	西多久ふれあい祭り	11月第2日曜日	西多久板屋
イベント	論語カルタ大会	11月	義務教育学校体育館(3つ学校の回り持ち)
イベント	孔子の里紅葉まつり	11月中旬～	西溪公園～聖廟
イベント	聖廟お火焚き	12/31～元旦	多久町東の原

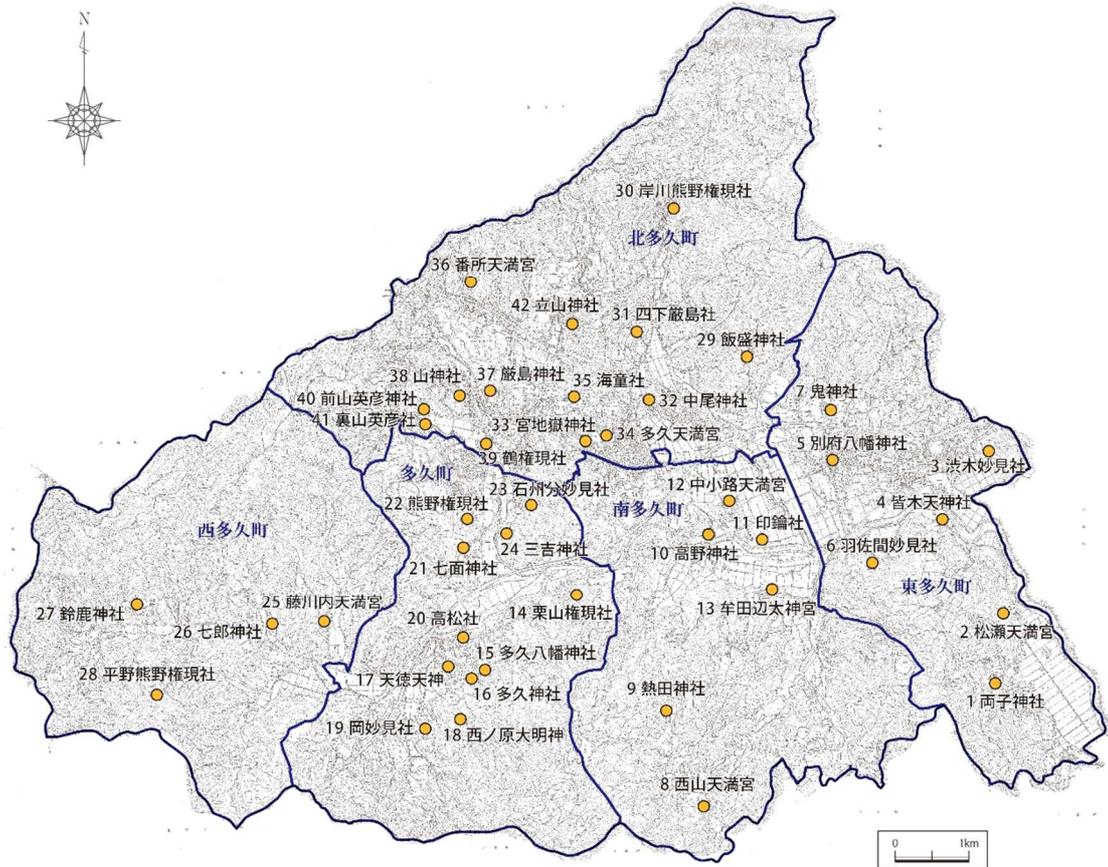


資料 11 多久市の主なイベント・祭り一覧

資料 12 多久市内の神社一覧

多久市史第 5 巻民俗編より作成

	名称	祭神	所在地	概要
1	両子神社	大山咋命・伊邪那美命・事解男命・速玉男命・天照皇大神	東多久町平林	明治43年、両子山王権現社(995年創建)と湯峯山熊野権現社(957年)が合併し、五神とした。
2	松瀬天満宮	菅原道真	東多久町松瀬	境内には1561年に造立された經典供養塔などがある。
3	洪水妙見社	北斗七星	東多久町洪水	多久家臣嶋打家胤1589年創建。
4	皆木天神社	菅原道真・同夫人・同世子	東多久町古賀一区	元禄以前より存在する。
5	別府八幡神社	応仁天皇・神功皇后・武内宿禰・少童命	東多久別府二区	1528年龍造寺家兼が宇佐八幡宮より分霊させ祭祀。その後明治14年現在の地に遷座される。
6	羽佐間妙見社	北斗七星	東多久町羽佐間	1573年田中土佐泰慶が創建。明治40年移築。
7	鬼神社	鬼鍛冶大明神	東多久仁位所	1470年(或いは807年)鬼を退治する太刀の鍛冶を記る。
8	西山天満宮	菅原道真・御嫡子・吉祥女	南多久町西山	二代目多久茂辰夫人の天性院(1667年没)の嫁入りを持参する田があった時に創建。
9	熱田神社	日本武尊・天叢雲御・素戔鳴尊・賀姫命・伊弉諾尊・宇賀御魂命	南多久町平原	尾張名古屋築城の横山の住人が帰国する際に、熱田の小祠を持ち帰り創建した。1614年大坂冬の陣出陣の際に創建したとも言われる。
10	高野神社	紀州丹生都比売命・水岡象命・暗黒霊神・田心姫命・市杵島姫命・他	南多久町西ノ谷	1191年多久太郎宗直が紀州高野明神を勧請したと伝わる。龍造寺長信が朝鮮帰陣の時に再建し、多久領の宗廟とする。
11	印鑰社	国府の印と鑰(大己貴神か)	南多久町庄	創建時不明、1816年には存在し、一説には佐賀の国府が一時的に別府に移されたとき、その国府の鑰を保管したとの意見もある。
12	中小路天満宮	菅原道真	南多久町中小路	1784年建立の鳥居は多久を渠地とした中西氏が奉納している。
13	牟田辺太神宮	天照皇大神・豊受大神	南多久町牟田辺	神殿は1658年伊勢講衆15名によって造立された石祀である。
14	栗山権現社	熊野権現	多久町下鶴	棟札により1644年創建と定まる。
15	多久(若宮)八幡神社	応仁天皇・仁徳天皇・神功皇后・比賣大神・大山津見命・少彦名尊・三女神・大己貴命	多久町東の原	1193年多久太郎宗直が鎌倉の鶴岡八幡宮の若宮八幡を勧請して創建したとされ若宮八幡宮と称し、1572年龍造寺長信が神殿を再建。
16	多久神社	剛健霊神(龍造寺山城守家兼)・元心霊神(龍造寺長信)・浄祐霊神(多久安順)・多久茂族・多久茂文・西南戦争以後の戦死者155柱	多久町西の原	1844年多久茂族は先祖の家兼、長信、安順を祭祀するための新宮を創建、梶峰社と名付け、京都よりご神躰を遷座して遷宮式を行った。昭和26年多久神社と改めた。
17	天徳天神	菅原道真・同世子・吉祥女	多久町西の原	初め、多久安順・徳寿院が小祠を建立し、その後1814年多久茂鄰が宮殿造に再建した。
18	西ノ原大明神	西原大明神(養心院)	多久町西の原	1837年、多久茂澄が、多久茂堯の娘・養心院の霊を供養するために創建した。
19	岡妙見社	北斗七星	多久町岡	1735年建立された妙見大菩薩石祀が神殿、鳥居は1836年再建。
20	高松社	熊野権現	多久町東町	1759年町中から志を募り石鳥居を建立する。これは現存している。
21	七面神社	都土明神社の時は七郎権現	多久町撰分	前身の都土明神が1614年に再建されているから、創建はそれ以前。
22	熊野権現社	熊野本宮の神(家津御子大神、天神地祇13柱)	多久町宮ノ浦	往古石州分(現石州)にあり大社であったと伝わり、牛馬に乗って通れば落ちるといことから宮ノ浦に潜在された。1691年には存在していた。
23	石州分妙見社	北斗七星	多久町石州分	神殿となる石祀は1614年造立で、玉垣が廻らされている。
24	三吉神社	伏見稲荷大明神	多久町石州分	明治時代に病弱な子供のために京都伏見の稲荷大明神を勧請して祭祀した。
25	藤川内天満宮	菅原道真・吉祥女・菅原道真世子	西多久町藤川内	1710年銘の鳥居には4代領主多久茂文の名のもとに藤川内村の民が天満宮の鳥居を建てた。
26	七郎神社	平戸志自岐神(稚武王命)・海童神	西多久町板屋	1561年に板屋村の名頭が平戸から神霊を勧請して社殿を建立したと伝わる。
27	鈴鹿神社	大比古命・坂上田村麿・鈴鹿御前	西多久町谷	創建時は不明、小石祠は1669年、造立した阿弥陀如来種子が刻まれたものである。
28	平野熊野権現社	熊野権現	西多久町平野	朝鮮出陣の折、社殿山から昇竿を差出した由緒より武具林と申伝わり、1592年には社殿が存在し、文禄期以後、武運祈願の社となった。
29	飯盛神社	熊野権現(伊弉冉尊)	北多久町相の浦	下松浦の相神浦城主相神浦望が多久に移り住んだ1179年に相神浦(現佐世保市)の飯盛権現を勧請し創建したと伝わる。
30	岸川熊野権現社	熊野権現(伊弉冉尊)丹邱邑史に記述あり。「初高所にあり、参詣不便利とて今の処に遷座なしたり、後略」	北多久町岸川	創建に豊臣秀吉の逸話がある。
31	四下巖島社	市杵島姫命	北多久町四下	神殿横の石造物群に1682年造立された弁財天石祀があり、本社創建の基本と考えられる。
32	中尾神社	中は素戔鳴尊、東は八王子五男三女、西は稲田姫命	北多久町多久原	1646年三代領主多久茂矩が京都祇園神を勧請し、多久原宿の氏神として創建した。
33	宮地嶽神社	神功皇后	北多久町中山	明治24(1891)年中尾神社の神官の発起により多久原区と中山区が合同で神殿を造営。
34	多久天満宮	菅原道真	北多久町中の原	神殿内に祭祀されている石祀は昭和11(1936)年の建立で、天満宮と刻まれている。
35	海童社		北多久町山犬原	鳥居は明治27(1894)年建立された。山犬原八龍社、山犬原愛宕社、弁財天社、がある。
36	番所天満宮	菅原道真・同夫人・同世子	北多久町番所	石祀には天満大自在天神と刻まれ、1688年造立されている。
37	巖島神社	田心姫命・津津姫命・市杵島姫命	北多久町筋原	1387年、当地の住民の代表数名が安芸国宮島弁財天に参詣し、分霊を乞うて創建したと伝わるが、社内の石祀には、1729年開基とある。
38	山神社	大山祇命	北多久町高木川内	厳木ダム建設に伴い、同町西宇土から昭和54年移築された。神殿の部材には1689年の墨書がある。
39	鶴権現社	熊野の神(伊弉冉尊・伊弉冉尊)	北多久町高木川内	鳥居の造立は1678年で、三代領主多久茂矩と四代領主多久茂文の名が刻まれている。
40	前山英彦神社	熊野権現	北多久町高木川内	丹邱邑史に、宝殿、拝殿などの記述がある。
41	裏山英彦社	熊野権現か	北多久町高木川内	参道には明治29(1896)年に造立された鳥居がある。
42	立山神社	越中立山神(伊弉冉尊・伊弉冉尊)	北多久町東原	神霊をこの地に奉祀して、生息していた大蛇の害を免れた。丹邱邑史に、宝殿、拝殿の記述がある。

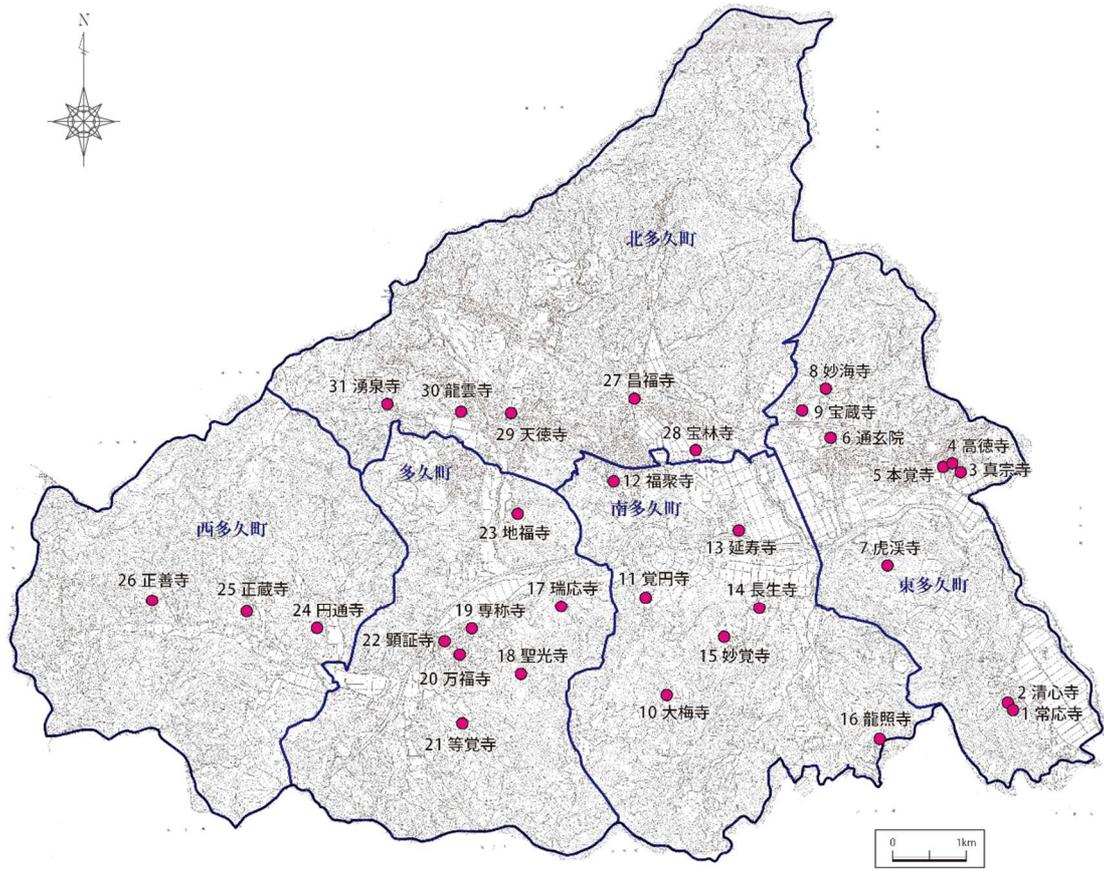


資料 13 神社位置図

資料 14 多久市内の寺院一覧

多久市史第5巻民俗編より作成

	名称	宗派	所在地	概要
1	歓喜山 常応寺	臨濟宗 南禪寺派	東多久町大門	納所次郎豊次が菩提寺として建立、天台宗の寺院が、荒廃し、1596年再興して禪宗に改めた。
2	佛頭山 清心寺	曹洞宗	東多久町大畑	松永兵馬豊和が創建し、開山は鎮叟守宅和尚(1619年没)、龍澤寺(江北町)の末寺であった。
3	無量寿山 真宗寺	浄土真宗 本願寺派	東多久町洪水	各地から就労してきた炭鉱労働者の真宗門徒衆から建立を求められ創建した。
4	松岡山 高德寺	真言宗	東多久町古賀二区東	大師堂として祈禱寺を創建、本尊は弘法大師(廃寺)。
5	吉谷山 本覚寺	日蓮宗	東多久町古賀二区東	1416年皆木の豪族吉谷氏が皆木村に堂を建て、開山後1888年現在地に移転。
6	慈雲山 通玄院	臨濟宗 南禪寺派	東多久町別府二区	多久二代領主茂辰が島原の乱戦死者の霊を弔うために創建。
7	慈音山 虎溪寺	臨濟宗 南禪寺派	東多久町羽佐間	円通寺二世石菴大和尚(1313年入寂)が開山、1501～1503年に再興。
8	浦寺山 妙海寺	日蓮宗	東多久町仁位所	当初は妙覚寺住持の隠棲の寺、山岳仏教の中継地、1442年日蓮宗に改め開基
9	長栄山 宝蔵寺	日蓮宗	東多久町宝蔵寺	開山は日軍上人と伝わり、深川勝妙寺末寺である。
10	仙桂山 大梅寺	曹洞宗	南多久町平原	多久茂順が開基、開山は諸説あり、横山多久家の菩提寺。
11	龍野山 覚円寺	浄土真宗 本願寺派	南多久町瓦川内	当初は一向宗の末寺として創建し、その後現瓦川内に移転
12	見性山 福聚寺	黄檗宗	南多久町長尾	三代領主多久茂矩が開基し、開山は桂叡和尚で、初め鹿苑寺と称す。
13	安国山 延寿寺	臨濟宗 南禪寺派	南多久町庄	多久宗直が梶峰城を創建したのに伴い、旧居館陣内城を廃し創建したと伝わる。
14	永喜山 長生寺	臨濟宗 南禪寺派	南多久町牟田辺	小城円通寺の末寺として創建、笑菴和尚が開山と伝わる。
15	桐野山 妙覚寺	天台宗	南多久町桐野	行基により勅願寺として創建され、その後荒廃し、勅命によって再興されたという。
16	東岳山 龍照寺	曹洞宗	南多久町田柄	三世東傳融丘大和尚が開山、創建したと伝わる龍澤寺(江北町)末寺
17	庭木山 瑞応寺	臨濟宗 南禪寺派	多久町下鶴	開山は月珠和尚で多久にあったが、1772年下鶴に移転。
18	杉尾山 聖光寺	真言宗	多久町東の原	龍造寺長信が梶峰城入城に際し、鬼門にあたることから、京都愛宕権現の本地勝軍地蔵を勧請して創建した神仏混滞の密教寺院。
19	光明山 専称寺	浄土宗	多久町東の原	行基が下多久平瀬に創建、初め天台宗であったが、1190年代に多久太郎宗直が梶峰城を築いた際に、現在地に移り、時宗となり、1545年頃浄土宗に改めた。
20	普心山 万福寺	曹洞宗	多久町西の原	覚養和尚が開山で、二世宅翁(1659年没)時には、既に曹洞宗であった。
21	西原山 等覚寺	日蓮宗	多久町西の原	渋木多久家祖が皆木に創建し、開山は日傳上人、1837年現地の東に移転。昭和7年現在地に移転。
22	福田山 顕証寺	浄土真宗 本願寺派	多久町浦町	開山は玄玄で、旧本町北裏にあったとされ、豊臣秀吉の名護屋出陣の折、縁があり河内顕証寺と同じ寺号に改める。
23	石州山 地福寺	曹洞宗	多久町石州分	円通寺5世玉室融椿大和尚(1479年没)が開山とされ、創建はそれ以前と思われる。
24	大応山 円通寺	曹洞宗	西多久町藤川内	1010年代に火災消失、真言密教の寺院。多久太郎宗直によって再建、玉翁融林和尚が曹洞宗開山一世になり、龍造寺長信が再興した。
25	法眼山 正蔵寺	曹洞宗	西多久町板屋	円通寺末寺で、開山は13世鶏山和尚、多久家より子孫繁栄と領内平安を依頼された。
26	慈雲山 正善寺	曹洞宗	西多久町谷	女山多久家(龍造寺長信従弟康房が初代)の菩提寺、江戸時代初め、康房の孫が再建し、曹洞宗に改める。
27	慈雲山 昌福寺	浄土真宗 本願寺派	北多久町多久原	顕証寺の末寺として小侍村に創建され、当時は菴室、1719年に現名に改め、1888年現地に移転。
28	東光山 宝林寺	曹洞宗	北多久町両の原	明暦3年(1657)以前の創建と思われるが、1695年開山の説もあり、初め下多久中小路に創建されたが、1880年現地に移転される。
29	高野山 天徳寺	真言宗 大覚寺派	北多久町筋原	地域の発展の核とするために地元有志によって大師堂、山門が完成する。
30	鴻源山 龍雲寺	曹洞宗	北多久町高木川内	円通寺二世一溪和尚が開山し、初め中多久村砂原の円通寺末寺であったが、1887年現在地に移転。
31	朝日山 湧泉寺	日蓮宗	北多久町高木川内	初め瀧の観音堂、のち朝日教会と称し、昭和27年現在地に新築し、現名として再興される。



資料 15 寺院位置図

